

◆ 人の温かさに触れる自然と歴史の島・見島

見島には海沿いの年月をかけて作られた雄大な景色や、ジーコンボ古墳群など歴史を感じさせる遺物が残っています。島には本村地区・宇津地区という二つの集落がありますが、峠を挟み、わずか 3km 離れただけの地区でありながら、食文化や方言の違いがあり、小さな島の中でも異なる地域性が見えるのが見島の面白いところです。

また島の歴史を知ることで、当たり前に見える田園風景や、海岸沿いの景色にも違った表情を見ることが出来ます。その歴史を守るために、高齢化が進む中でも沢山の伝統行事が形を変えながらではありますが、現在も受け継がれています。

十数年前から地域の特色や強みを活かした交流イベントを島民自らが企画しており、「この島を守らにやいけん」という強い気持ちが伝わってきます。

決して条件がいいとは言えない日本海側の国境離島で暮らしていくために、工夫をしながら島の方たちは生活してきました。その分、人と人が助け合う姿や繋がりも強く、訪れる方にも優しい笑顔で迎えてくれます。

ほっこりとした人の温かさに触れる自然と歴史の島・見島が見島地区のおたからです。

おたからの一例

おにようず
鬼揚子、凧揚げ大会

北灯台



郷土料理 ウニめし



観音崎 宇津観音



観音崎



見島の釣り

おばあちゃん達の
たまり場

見島の特産品・キュウリ



八町八反

◆ 海と陸の文化を結ぶ玉江の信仰と祭り

萩の西側に位置する玉江は、山間部の奥玉江と川沿いの玉江浦、河口付近の山麓に位置する倉江など複数の集落に分かれています。玉江浦は延縄漁で栄えた集落で、港に帰る船の目印でもあった観音院観音堂や漁師を育成した青年宿の建物など、漁業集落の面影を現代に多く残しています。奥玉江では、田園地帯だった土地に住宅地や建物が増えましたが、昔から親しまれてきたホタルの舞う景色を住民が一丸となって守り続けています。江戸時代には岩国藩の吉川氏の領地であった倉江は、農村としての特徴が色濃く残っていて、砂地を活かした夏みかん栽培が今も盛んに行われています。

玉江浦と奥玉江の境にある権現様（玉江神社）は両地域が共同でお世話をしている、例祭では玉江浦からは天狗拍子を、奥玉江からは鶏鬮樂を奉納していました。

玉江浦の伝統的な和船競漕である「おしくらごう」は、玉江浦と倉江の有志によって支えられ、地元の一大行事として現在も続けられています。

また、倉江にあるオミセンサマ（倉江神社）には玉江浦の若い漁師たちが海上守護や船酔い避けを祈ってお参りをしていました。

地形や時代によってそれぞれ異なる形で築かれてきた集落ごとの文化と、それらを互いに結びつけてきた寺社やお祭りが玉江地区のおたからです。

おたからの一例



権現様に奉納される天狗拍子



おしくらごう



権現様（玉江神社）



カノコユリ



観音院、観音堂



オミセンサマ（倉江神社）



弁天様（厳島神社）



青年宿（中間組）



松林桂月

◆ 伝統を次世代へつなぐ地域の輪

山田地区は萩市の南西部に位置し、自然豊かな農村地帯です。

山田には天神様、諏訪様などの神社や祠、お地蔵様があちこちに点在し、農業や生活の中で、人々が昔から土地の神仏を信仰し、大切にしてきたことを伝えています。

天神様の秋祭りでは豊穰や安産を祈願する「神楽舞」が奉納されます。幼児から大人まで多くの舞太夫が参加します。神楽舞には 23 の演目があり、幣、扇子、刀、鈴等を持ち、笛や太鼓の音に合わせて舞い踊ります。

6 月上旬には玉江川沿いに、地元白水小学校の子どもたちが育てたホタルが飛び交い、その様子を農道を舗装したホタルロードから楽しめます。地元農家の有志で企画する「ホタルまつり」は、地域の交流の場・山田らしさを確認する場として、ステージ発表や地域の特産品販売を催し、萩市内外を問わず多くの参加者でにぎわいます。

先人から引き継いだ神楽や地域のコミュニケーションの場を大切にする「伝統を次世代へつなぐ地域の輪」が山田地区のおたからです。

おたからの一例



神楽面（岩戸の鬼）



天神様



神楽舞、ホタル祭り



大山住神社の祭礼



山田の炭焼き小屋



諏訪神社



しめ縄作り



山田の岩戸神楽



殿河内のお地蔵様

◆ 今も昔もお地蔵様が見守る里 木間

木間地区は萩市の中心部より南西へ 13 km の場所に位置し、東木間・西木間・北木間の 3 つの集落からなる山に囲まれたのどかな地区です。夜空の星がきれいで、初夏にはホタルが飛びかう自然豊かな場所です。

旧萩市の中で最高峰の鯨ヶ岳 (616m) があり、この谷間から流れる水が木間全体の水源になっており、昼夜の寒暖の差が激しいことも加わって、美味しいお米や野菜が育ちます。高齢生産者の農作物を出荷代行する「たすけあい集荷」も行い、地域の女性加工グループでは、木間の素材を使った「木間のとうふ」、「木間のみそ」をはじめとする加工品の製造販売を行っています。

奈良時代に社殿が建立、江戸時代に再建された若宮神社があり、毎年 8 月 15 日の風鎮祭に萩市指定無形民俗文化財の「神代の舞」が奉納されます。また木喰上人が全国を行脚しながら彫った神像が保存されています。昔から土地の神仏を大切にしてきたこの地域には、お地蔵様が随所に点在し、木間の人たちを優しく見守ってくれています。6 月中旬から見頃を迎える木間の菖蒲園では開花に合わせて、菖蒲園まつりも行われ、地域の助け合い、お地蔵さまへの感謝の心、優しさが縁をつないでいます。

今も昔もお地蔵様が見守る里・木間が木間地区のおたからです。

おたからの一例



北木間のお地蔵さま



木間「神代の舞」



菖蒲園



若宮神社



木喰上人作の神像*



牛の放牧



旧木間小中学校



木間の雪景色



木間のみそ、木間のとうふ

* 木喰上人の神像は若宮神社のお祭り等で公開する場合があります。

2013

浜崎地区のおたから

◆ 港で栄えた商家町

旧松本村地区のおたから

◆ 松陰先生のふるさと、旧松本村

むつみ地域のおたから

◆ 恵まれた自然地形と先人から引き継がれてきた田園風景、暮らしの証

旭地域明木地区のおたから

◆ 街道による人・物の交流と思いやりの中で生まれ栄えた明木のおたから

旭地域佐々並地区のおたから

◆ 萩往還の宿場町を中心に栄えた心のよりどころ、佐々並

2014

堀内・平安古・城下町地区のおたから

◆ 維新の志士が往来した当時の風景を今も残すまち

土原地区のおたから

◆ 松本川に育まれた人々と武家の町割り

川上地域のおたから

◆ 阿武川とともに生きた山里の歴史と営み

福栄地域のおたから

◆ 深い山々にいざなわれた信仰の里

三見地区のおたから

◆ 赤間関街道の宿駅町として発達した三見市と街道の変遷

2015

川島・藍場川地区のおたから

◆ 人々の暮らしにとけこんだ藍場川と川島の風景と歴史

笠山・越ヶ浜地区のおたから

◆ 越ヶ浜の自然と漁業集落の暮らしの文化

須佐地域のおたから

◆ 幕末・明治維新と日本の近代化を支えた須佐

田万川地域のおたから

◆ 田万川のおたからを育んだ海彦・里彦・山彦

大井地区のおたから

◆ 古代の息吹が今にいきづく阿牟の里・大井

2016

椿地区のおたから

◆ 萩の玄関口・椿

大島地区のおたから

◆ 恵みの海と火山台地のヤマに育まれた元気な島

2017

江向地区のおたから

◆ 水とともに暮らししてきた城下町・萩の教育と近代化の歴史

相島地区のおたから

◆ 日常とは違った、心豊かになるハートの形の島・相島

これまでに認定されたおたからの詳細を記した「おたからカルテ」は、萩のおたからデータベースでご覧いただけます。

URL: <https://sites.google.com/site/otakararute/>



萩のおたから

萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業では、地域のおたからを再発見して、「萩のおたから」として地域から推薦し、市民が互いに認め合い、データベースで公開して活用する取り組みを行っています。これからも、萩のおたからを未来に引き継ぐため、萩市民が協力しあい、守り育て、いかす活動を進めていきます。

萩のおたから（文化遺産）とは…

- ・地域らしさを作り出している「もの」や「こと」
- ・地域のことを物語る上で欠かせない「もの」や「こと」
- ・地域のたからとして大切に守り伝えていきたいと思う「もの」や「こと」

平成 30 年（2018）度の活動

- | | | |
|------|---------|--|
| 2018 | 4月 25日 | 第7回実行委員会 |
| | 5月～ | 各地（見島、玉江、山田、木間）で現地調査・資料調査、地域おたからマップ作成
地域交流イベント企画・準備 |
| | 9月 8日 | 萩の魅力再発見ツアー
「萩はなぜ世界遺産になった？」 |
| | 10月 20日 | 見島地区 地域交流イベント
「美しい自然と人の温かさに触れる癒される離島・見島探訪ツアー」 |
| | 12月 2日 | 萩の魅力再発見ツアー
「城下町ジオさんぽコース」
「浜崎ジオさんぽコース」 |
| | 12～1月 | 各地で推薦するおたからの検討・推薦資料作成 |
| 2019 | 1月 18日 | 地域おたから活用ワークショップ
「地域資源を活用したまちづくりでまちのブランド力を向上！久留米まち旅に学ぶ」
講師：NPO 法人久留米ブランド研究会 矢次恵美子氏 |
| | 2月 14日 | 文化遺産認定委員会 |
| | 2月 21日 | 第6回 萩まちじゅう博物館おたから総会
各地域からおたからを推薦発表、市民が「萩のおたから」として認定 |
| | 2月 25日 | 地域おたから活用ワークショップ
「文化遺産を活用したまちづくり～篠山ノオトに学ぶ、歴史的資源をまちの宝に変える方法論～」
講師：一般社団法人ノオト 金野幸雄氏 |
| | 3月 19日 | 地域おたから活用ワークショップ
「手作りの長門旅―ナガトリッパーに学ぶ、地域の新しい楽しみ方を編み出す力」
講師：一般社団法人長門市観光コンベンション協会 田中輝氏 |
| | 3月 23日 | 木間地区 地域交流イベント
「木間を歩く」 |

